

令和6年度に北九州市立小学校等で使用する教科用図書の採択について

令和5年7月6日教育委員会会議において、令和6年度に北九州市立小学校等で使用する教科用図書を次のとおり採択しました。

令和6年度使用小学校用教科用図書	
種 目	発 行 者
国 語	光 村 図 書 出 版
書 写	光 村 図 書 出 版
社 会	教 育 出 版
地 図	帝 国 書 院
算 数	啓 林 館
理 科	大 日 本 図 書
生 活	東 京 書 籍
音 楽	教 育 芸 術 社
図画工作	開 隆 堂 出 版
家 庭	東 京 書 籍
保 健	光 文 書 院
英 語	光村図書出版（第5学年） 教育出版（第6学年）
道 徳	日 本 文 教 出 版

令和6年度使用小学校教科用図書採択理由

【国語】光村図書出版

- 見通しをもって学びを深めていくことができるように、巻頭の「国語の学びを見わたそう」では、「学び方」が示されている。この学び方は、どの単元でも生かせるように構成されている。また、「〇年生で学ぶこと」では、前学年で学んできたことが具体的に示されており、これまでの学びを確かめながら、1年間の学習を見通すことができるように工夫されている。
- 「見通しをもとう」では、一連の学習の流れが示されている。学習や生活の中で感じた児童の「問い」を出発点として、段階に沿って学習が進められるようになっており、「ふり返ろう」では視点を明確にして自らの学習を振り返り、学びを自覚することができるようになってきている。また、選択課題や考えるための観点が複数示されており、児童の興味や実態に沿って学習が進められるようになってきている。
- 「じょうほう」のページが、関連する単元の前後に設定されており、学習や生活に生かすことができる情報活用力を育むことができるように工夫されている。また、巻末の「図を使って考えよう」では、思考ツールを使って情報を整理する方法や整理した情報を伝えるときの言葉が示されており、実生活でも生かしていくことができるように工夫されている。
- 児童の学びをより確かなものにするためのデジタルコンテンツが充実している。題材への興味・関心を高め、一人一人が「問い」をもって学習に入ることができるような動画や、教材文の理解をより深めるために必要な写真・動画などがあり、学びの質を高めることができるようになっている。また、二次元コードの上に、「写真」「動画」など、データの種類が分かるように示されており、学習の中でもより使いやすいように工夫されている。

【書写】光村図書出版

- 一時間の授業で学ぶことが明確になるように、教材ごとの目標が一つに示されている。「考えよう」では、文字を観察したり、比較したりする活動が設定されている。この活動を通して、児童は文字を整えて正しく書くポイントを見付け、それを意識しながら、文字を書くことができる。
- 単元ごとに、「ねらい」「学習の進め方(考えよう・確かめよう・生かそう)」「たいせつ」が明示されている。児童に思考させたい「考えよう」や「大切」を大きく取り上げ、その他は小さくまとめるなど、ねらいを達成させるための情報が精選されている。また、ページ内のレイアウトが全体を通して統一されている。児童にはわかりやすく、教師には教えやすい紙面になっている。
- 単元ごとの「生かそう」では、手本で書いた文字だけでなく、ねらいに沿って他の文字を練習することで生活の中の硬筆に広げることができる。各学年の「書写を広げたい」は、学年の発達段階に応じて、国語や他教科、日常生活に関わる教材が豊富である。

【社 会】 教育出版

- 4年生「わたしたちの県のまちづくり」では、福岡県内の特色ある地域として東峰村と太宰府市、岡垣町が取り上げられている。また、5年生「環境をともに守る」では北九州市が10ページにわたり取り上げられている。このように、地域教材が多く盛り込まれている点から、本市児童の地域社会に対する誇りと愛情を養うことにつながると考える。
- 「つかむ・調べる・まとめる」という学習の流れの中で、問題解決的な学び方を重視した内容になっている。見方・考え方の例が、單元ごとにキャラクターの吹き出しで示されている。見開き1ページの紙面構成や吹き出しなどで、児童は、どのような学び方をすればよいか、教師はどのような授業を展開すればよいかを具体的につかむことができる。
- 学習活動の場面では、キャラクターのイラストで、性や国籍の違い、障害の有無に関わらず多様な子どもが互いに協力し合いながら取り組む様子が描写されており、互いの違いを尊重し合える内容になっている。

【地 図】 帝国書院

- 読み取りやすい要素を精選した地図と、詳しい地図の両方が掲載され、学年や児童の発達の段階によって、使い分けることができる工夫がされているため、活用しやすい構成となっている。また、「3年生の学習」では、初めて地図帳を扱う3年生にとって扱いやすい内容となっている。
- 「地図マスターへの道」では、児童に興味・関心をもたせ、地図帳を活用することで、自発的な学習を促すことができるように配慮されている。また、全体的に系統性のある構成となっており、資料と地図を関連付けて読み取らせる配慮がされているなど、本市の児童に必要な、資料活用能力の育成ができるような工夫が見られる。
- 3年生からの外国語活動でも使用できる表記や、音楽の舞台に関する記載、SDGsの視点での資料等があり、他教科との関連が図りやすい。また、「生まれ！世界の子どもたち」では、世界各国の概要や特色が分かりやすく解説されており、世界にも関心をもたせる工夫が見られる。中学校での学習につなげることもでき、世界地理への関心が高められるようになっている。
- 二次元コードの内容では、地形や土地の使われ方・交通の様子など、分野ごとに地図が見られ、教員も指導する際に便利なツールとなっている。また、等高線や地球儀の使い方などの理解が難しい内容は、アニメーションでの解説が行われ、本市の児童が理解しやすい工夫も見られる。二次元コードの隣にはリンク先の内容に関する記載があり、全ての児童にとって分かりやすい。

【算 数】 啓林館

- 問題解決的な学習ができ、児童が目的意識をもって主体的に学習を進めることができるように、毎時間の「めあて」とそれに対応した「まとめ」の記載がある。また、数学的な見方・考え方が明記されているので、系統的な学習であることを教師・児童ともに意識できるようになっている。さらに、1単位時間の区切りが明確で、学習のスタートとゴール及び授業の流れが分かりやすい。
- 基礎的・基本的な内容の定着を目指す点において、「面積」では、学習指導要領で示されている求積方法に絞って掲載することで、考えたり説明したりする活動時間や練習問題に取り組む時間を確保している。本市で指導するあらゆる経験年数の教師も学習する児童も実態に合わせて取り組むことができる。
- 児童がつまずきやすい学習への対応として、「わり算の筆算」や「割合」では、系統性を考え、統一した関係図を使って数量関係を把握したり説明したりできるようにしている。また、ページ数を増やしたり、二次元コード読み取りによるアニメーションを掲載したりして丁寧に取り扱っている。巻末には、図のかき方、算数で使う考え方、説明の仕方があり、これまでに学習したことを振り返る際や自主学習の際に役に立つ。
- GIGA 端末の活用において、「わり算の筆算」では二次元コードの読み取りにより、計算の手順をアニメーションで確かめることができるようになっている。「平行四辺形の敷き詰め」では、端末上で図形を敷き詰め図形を見出すことができる。二次元コードが大きく、本市端末で読み取りやすく、スムーズに活動を展開できる。

【理 科】 大日本図書

- 「理科の学び方」では、問題解決の過程だけでなく、問題解決に必要な力を分かりやすく示しているので子ども自身で学びを進めやすい。また、観察カードの見本や観察のポイントが示されている点は、個人の学びを促すうえで有効である。予想、計画、考察の場面で子どもたちが話し合う様子が描かれているので、話し合いを位置付けることの必要性やよさが伝わってくる。
- 単元の最初に見開きで左右の写真を比べることにより、子ども自身が課題をもって取り組めるよう工夫がなされている。各所にある二次元コードには動画など必要なコンテンツが充実している。また、単元末問題や全国学力・学習状況調査を意識したチャレンジ問題では、単元で学習した知識・技能の確認や活用が図られ、本市の課題である、知識及び技能の定着に有効である。
- 実験器具の使い方については、巻末にまとめて詳しく書かれており、異なる単元においても繰り返し確認することができるようになっており、技能の習得に有効である。また、二次元コードで、教師も事前に実験における流れの確認や事故防止の注意事項などを再確認することができる。
- 4年生の単元「季節と生物」での季節の分け方が北九州市の気候にあっている。特に、「春のはじまりと春」ではサクラ、「夏と夏の終わり」では、ツルレイシが取り扱われており、北九州の地域性に合っている。また、5年生の「台風の学習」が夏休み前にあり、現在の気象状況にあっている。

【生活】東京書籍

- 本市の児童の課題の一つとして、「思考力・判断力・表現力等の育成」があり、生活科ではその基礎を身に付ける必要がある。各ページの導入においては、活動に向かう問いと、それに関連するマークがあり、「～したいな。」「どんな～がいいのかな。」等の呼びかけで、対象への自分の思いや気付きを生み出し、問題を解決していく学習につながっている。
- 見出された思いや願いから、実際に活動する・考える・表現する等の児童の学びが、見開き1ページで左から右へ流れるように示され、深い学びへと導くような構成の工夫がある。また、振り返り等に向けた多様な表現方法を掲載するとともに、学習内容や発達の段階に合わせた方法・内容を例示し、2年間で徐々に活動の質が高まるように配慮されている。
- 身近な生活における人々、社会および自然等をより詳しく捉えることができるように、巻末の図鑑では、紙面で見るとよさを生かして実物大の生き物を掲載するなど内容を充実させている。あわせて、QR コンテンツによるデジタル図鑑では、200種類以上の生き物を掲載し、児童が様々な興味・関心に応じて調べることができるようになっている。
- 今後のICTの日常的な活用を見据え、発達の段階を考慮したうえで、生活科における情報活用能力を体系化している。これを基に、児童による活動の記録や、話し合いや振り返り、発表等の各場面におけるICT機器の具体的な活用方法を、各ページにおいてイラスト等で例示している。ICT活用を含めた環境構成の例は、教員の授業づくりのヒントにもなる。

【音楽】教育芸術社

- 各教材に「見つける」「考える」「歌う」「つくる」というような学習の流れとともに、キャラクターの吹き出しにその時間のポイントとなる音楽的な見方・考え方が示されているため、児童が見通しをもって学習に取り組むことができる。また、若年教員など音楽の専門性があまり高くない教員でも、見通しをもって指導を行うことができると思われる。
- リコーダーの学習では、音名や運指が各教材に示されている。また、それらが視覚的に見やすく配置されているため、児童が主体的に学習に取り組むことができる。さらに、教材は段階的に学ぶことができるよう配慮された構成となっているため、児童が自らの技能に応じて内容を選択しながら主体的に学習に取り組むことができる。
- 音楽づくりのデジタルコンテンツでは、音符・休符の配置や、演奏する楽器を選択し、実際に音を出して試すなど、タッチ操作で創作活動ができる。この仕様により、楽譜を書くことや楽器を演奏することが苦手な児童でも、スムーズに音楽づくりをすることができ、自らの思いや意図を表現することに注力して、楽しみながら活動することができると考えられる。
- 音楽表現の工夫に関わる題材では、キャラクターが思いを発言したり、ポイントとなる音楽的な見方・考え方をもとに考えを深める問いを発したりしている。また、キャラクター同士で対話する場面が示されている。発想することを苦手と感じている児童でも、これらをヒントとして、自らの感じたことに気付き、思いや意図を深めることができると考えられる。

【図画工作】 開隆堂出版

- 児童のいきいきとした表情が多く掲載されており、本市の児童が興味・関心をもち「やってみたい！」といった意欲とともに、主体的な活動につなげることができる。また、全学年で、1年間の学習を見通せる目次を掲載し、学年全体の活動の内容と目標が観点別に分類して構成されているため、本市の児童が見通しをもって活動することができる。
- 育成すべき資質・能力を、分かりやすい「学習のめあて」と観点別のキャラクターで示しており、学習のポイントや造形的な見方・考え方を楽しくアドバイスするとともに、題材ごとに大切にしている中心的なめあてが強調されているため、本市の児童が活動に取り組みやすく、図画工作で培うべき資質・能力を確実に身に付けることができる。
- 児童の意識や活動範囲について、自分から他者、社会に広がっていくことを考えた児童の発達段階への配慮がある。巻末では「つながる造形」「みんなのギャラリー」などが掲載されており、本市の児童が造形的な見方・考え方を働かせ生活や社会の中の形や色などと豊かに関わることができる。また、幼児期や中学校への接続ページが設定され、キャリア教育へも対応している。
- 題材ごとに QR コードから動画や写真で学習内容や道具の使い方などを参照でき、本市の児童が興味や関心をもって学習活動に取り組むことができる。また、「アイデアシート」「かんしゅうシート」「ふりかえりシート」をダウンロードして活用でき、発想や構想を広げたり学習を振り返ったりするなど、主体的・対話的で深い学びにつなげることができる。

【家庭】 東京書籍

- 巻頭の「成長の記録」は、学習後に家庭で実践したいことを「次へのチャレンジ」として記入できるようになっている。見開き1ページで全題材の家庭で実践したいことが把握でき、家庭での実践につなげる意識を高めることができる。また、夏休みなどの長期休業の時期に、「生活の課題と実践」のページを設定し、児童が主体的に取り組めるように工夫されている。
- 「いつも確かめよう」を巻頭と巻末に設定している。巻頭は手の洗い方や地震が起こった時の対処法などの安全・衛生面について、巻末は調理や製作実習などの技能面についてと区別され、それぞれ写真やイラストで分かりやすく掲載されている。開きやすい巻頭と巻末にまとめて掲載され、いつも確認することで基礎的・基本的な知識や技能の定着につながる。
- 全題材において3つのステップで学習が展開され、教師も児童も学習の見通しをもって主体的に学習を進めることができる。また、ステップ1は思考ツールとして活用できるトライシート、2は実習を円滑に進める基礎技能動画、3は学習をまとめるワークシートなど、段階に適した QR コンテンツが活用できるように配慮されている。

【保 健】 光文書院

- 「見つけよう」「調べよう」「考えよう」「話し合おう」「やってみよう」などの、5つのステップで構成されており、子どもが見通しをもちやすく、自主的・自発的な学習を促すような工夫がある。そのため、自分の健康課題を見付け、その解決に向けて自ら考える力を育成しやすい。
- 「話し合おう」や「学んだことを生かそう」では、調べたことや、考えたことについて、伝えたり、話し合ったりする活動を取り入れており、思考し判断したことを表現することを通して、考えを広げたり深めたりすることができるようになっている。
- 1単位時間で学習する内容が、見開き1ページで分かりやすくまとめられており、学習の流れが一目でわかる紙面構成になっている。また、大切な言葉を太字で強調するなど、児童が学びやすいと感じる工夫がある。各単元末に「学習のまとめ」が設定されており、確実な理解を図る工夫がある。
- 全般的にイラスト類が鮮明で明確であり、児童が学習活動のイメージをもちやすくなるように工夫されている。また、男女の比率やそれぞれの役割に偏りのないように配慮されている。資料が学習内容に対して効果的に掲載されている。二次元コードが掲載されており、補助資料や動画や画像、外部リンクなどの学びを助ける工夫がある。

【英 語】 光村図書出版

- 各活動に、目的・場面・状況が記されており、外国語で求められている思考力を働かせることができる。特に、Let's try では、学習する語句や表現を使い、予想してから質問したり、話す目的を考えたりしながら、伝え合うようになっている。さらにLet's tryの活動を生かして、別の人に伝えたり、詳しく尋ねたりする活動が+one として設定され、コミュニケーションを図る資質・能力の基礎を育む構成となっている。
- 本市の児童は、外国語科等で学んだことをアウトプットする場として北九州英語村体験学習等を経験している。その際、多くの児童が「外国の先生と英語で話して楽しかった」などの感想を述べている一方で、「もっと言いたいことを伝えなかった」「言いたいけど言い方がわからず、困った」などの意見があり、より自分の考えや気持ちを伝える経験を増やしていく必要がある。対話場面で自分の考えや気持ちを伝える経験を重ねられるように工夫されている点が適している。
- 単元冒頭の見開きで、各ユニットでできるようになることが明確に示されているとともに、Hop! → Step1 → Step2 → Jump!と言語活動のゴールまでの流れが分かるようになっているため、児童が見通しをもって学習に取り組むことができるような工夫がある。
- 巻頭では各学年の5領域の到達目標を示すとともに、ユニットごとに重点的に扱う領域を分かりやすく示しているため、児童は学習の目標が明確になる。また、ユニット最後の「ふりかえろう」の欄では、重点化された領域で工夫したことや学習の進め方を調整した点等を記入することで自己評価し、巻頭の表とリンクさせている。巻頭の表はCAN-DOリストとなり、中学校の英語科につながっている。

【道徳】 日本文教出版

- 全ての教材において、教材名の横に、リード文や登場人物の紹介が掲載されている点、また、全ての教材に二次元コードの掲載があり、その教材の朗読や関連動画が選択できるデジタルコンテンツが充実している点から、本市の児童にとって、教材理解がしやすいものとなっている。
- 全ての教材末に「考えてみよう」「見つめよう・生かそう」という視点の発問の掲載があり、1単位時間の中で、自己を見つめ、自己の生き方について考える発問が設定されている。児童の思考を深めると共に、若年教師にとって授業展開をイメージしやすい構成になっている。
- 児童の考えを深める「ぐっと深める」というページが、各学年5～6教材に関連して設定されており、役割演技や言語活動などを参考例として提示している。発達段階に応じた多様な学び方で、自己の生き方についての考えを深めることができるようになっている。
- 別冊「道徳ノート」は、これまで記載されていた発問例を掲載せず、絵や図、文章などを自由に書き込める記述欄のみに変更されている。ノートやワークシートは、児童が思いや考えをまとめたり、友達と交流するときの話のきっかけになったりするものであり、学びの足跡にもなる。